



編集・発行 北海道立生涯学習推進センター

〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 かでる 2・7 8 階 電話 011-204-5781 FAX 011-261-7431

E-mail: shougai.12@manabi.pref.hokkaido.jp ホームページアドレス <https://manabi.pref.hokkaido.jp/>

当センターは、本道における生涯学習振興の拠点施設として、市町村や高等教育機関及び産業界などと連携を図りながら、「調査・研究」、「指導者の養成・研修」、「学習情報の提供・相談」などの取組を通して、道民の様々な学習活動が豊かに展開されるよう支援しております。本号では課題対応型学習活性化セミナー（道北会場、道央会場）の様子を掲載します。



## 課題対応型学習活性化セミナー（道北会場）



### 1 研修テーマ

誰もが活躍する地域づくり ～「学びと社会参画」のエイジレス社会を目指して～

### 2 期日・会場 平成 30 年 10 月 4 日（木）宗谷合同庁舎

10:00 10:30 12:00 13:15 15:15 15:30 16:30

受付	開会	基調講演	昼食・休憩	情報交換・協議	閉会	個別相談
----	----	------	-------	---------	----	------

### 3 研修の概要

#### (1) 基調講演「高齢社会における生涯学習について考える」北翔大学非常勤講師 谷川 松芳 氏



地域の教育資源である高齢者を巻き込みながら活力ある地域づくりを進めるためには、関係機関と連携を図りながら、地域の歴史や人生経験を語り継ぐ場を設定するとともに、日常の触れ合いやアンケートを通して高齢者のニーズを把握して事業を企画することが重要であるとお話されました。

#### (2) 情報交換・協議

「誰もが活躍する地域」とはどのような地域であり、目指す姿に対してどのような課題があるかを話し合った後、「住民の主体性を促すためにできること」、「住民が活躍する場を創るためにできること」について協議しました。参加者からは、「『場』を創ることは難しいことではないが、行政だけではなく住民の意見を反映させることが大切。関係機関とも一層連携を図っていくべき。」といった感想が出されていました。



## 研修会のご案内

地域生涯学習活動実践交流セミナー（札幌市）	2月14日（木）～15日（金）（2日間）	200名	社会教育主事、社会教育行政担当者、地域づくりに関心のある住民及び団体職員等	北海道社会教育セミナーにおいて検討したアプローチについて、実践した結果を交流します。 【内容】・事例発表・研究協議・講演等
-----------------------	----------------------	------	---------------------------------------	--

## 課題対応型学習活性化セミナー（道央会場）

### 1 研修テーマ

地方創生の時代における教育行政のあり方 ～各地域の強みを生かした地域間連携を目指して～

### 2 期日・会場 平成 30 年 11 月 8 日（木）後志教育研修センター

10:00	10:30		11:30	12:00	13:00	13:45	16:30	16:45	17:30
受付	開会	説明	事例紹介	昼食・休憩	事例紹介	協議	閉会	個別相談	

### 3 研修の概要

#### (1) 説明「地域間連携について」北海道立生涯学習推進センター 田中 尚史

人口減少が進む中で、地域間連携は諸課題を解決するため有効な手立てであること、連携には「目的共有」「連絡を取り合うこと」が必要であるが、後志管内社会教育主事会の研修会等が「目的共有」の場となるので、後志管内には連携のための下地があると説明しました。

#### (2) 事例紹介

##### 【総合型スポーツクラブでの連携】

胆振管内壮瞥町教育委員会 蛭名 雄一 氏

町同士の連携では、他町の事業に予算をつけにくいから、総合型スポーツクラブの事業に予算をつけることは可能なことから、団体を介することで、連携しやすいと話がありました。また、連携することで互いの町の課題が解決されたこと、連携のメリットについてもお話いただきました。



##### 【日高管内社会教育職員連絡協議会の取組】

日高管内新ひだか町教育委員会 中村 真也 氏

この協議会は、昭和 54 年頃から始まり、今では課長、社会教育指導、社会体育指導、図書、学芸員の 5 つの部会があること、日高管内社会教育主事会が中心となり年間 3 回の研修を実施していること、今年度は、社会教育部会が独自に「ひだか未来塾」を開催したことが紹介されました。

##### 【児童生徒の交流キャンプでの連携】渡島管内鹿部町教育委員会 瀧澤 静 氏

瀧澤氏が中心となり、社会教育主事会の会員に働きかけて実施しているキャンプ事業について、お互い負担にならないこと、各町のスタイルを尊重することなどが連携のポイントとして紹介されました。また、キャンプ事業は中学生のジュニアリーダーが運営するようにしていて、子どもたちに力がついていくことも強調されました。

#### (3) 協議

はじめに参加者は自分のマチの「強み」と「弱み」を分析しました。それらを他の市町村の担当者と交流することで、他市町村の「弱み」を補う連携の可能性に気づきアイデアを出し合っていました。

次に青少年につけたい力について協議し、「やりぬく力」や「まとめる力」等が出され、それらについて社会教育事業で何をすれば、そのような力をつけることができるのか話し合いました。そして、実際に連携事業化するまでに何をしていけば良いのかなど、実現するための見通しを持つようにしました。



課題対応型学習活性化セミナーは、生涯学習推進センターと、開催地の管内主事会の共催で実施しています。次年度は、道央会場（空知管内）、道北会場（留萌管内）、道東会場（釧路管内）、道南会場（檜山管内）での開催となります。